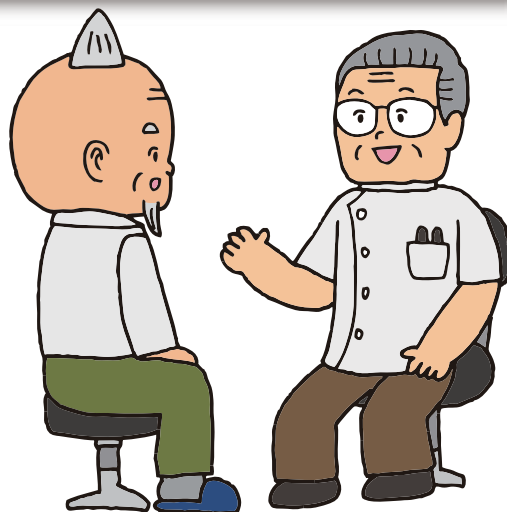


認知症って何？

認知症とは…

脳の病気によって、記憶力や判断力が低下することで、日常生活に支障が出ている状態を認知症といいます。

認知症を引き起こす病気は多くあり、その症状もさまざまです。



認知症を引き起こす代表的な病気

アルツハイマー型認知症

最も多い病気で、すべての認知症の半数以上を占めます。もの忘れから始まる場合が多く、主な症状として、段取りが立てられない、気候に合った服が選べないなどがあります。病気の症状を改善したり、進行を遅らせる効果が期待できる治療薬があります。

血管性認知症

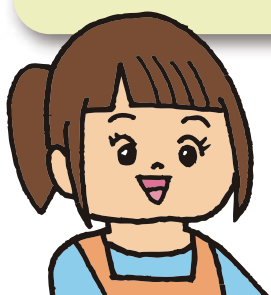
アルツハイマー型認知症に次いで多い病気。脳の血管が詰まったり(脳梗塞)、破裂したり(脳出血)して起こります。高血圧や糖尿病などの生活習慣病や心臓病などをきちんと治療し、規則正しい生活をするすることで、発症や進行の予防が可能です。

レビー小体型認知症

本来存在しないものが見える幻視や、手足の震えや歩行障害(パーキンソン症状)などをともないます。

前頭側頭葉変性症(ピック病)

もの忘れよりも人格や行動の変化(万引きをする、同じ行為を繰り返すなど)、言葉の障害が初期から目立ってきます。



※その他、頭部のケガや病気などさまざまな原因で発症します。

たとえば… 甲状腺機能低下症、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症(脳の中に血液や水がたまる)など